

「わたしはだれでしょう？ Part.1」

解答

名 前		得 点	／10
-----	--	-----	-----

	だれかな？	説 明
①	答え ↓	どうして、伝染病やききん、反乱など悪いことばかり起こるのだろうか？私や私の親戚たちが悪いのだろうか？なんとか仏教の力で、この不安な世の中をしずめたい。どうすればいいのだろうか？
	聖武天皇 (教科書P.24～P.33)	聖武天皇は、その生い立ちなども含めて、悩みが多かったようです。「自分が何とかしなければ…」という思いが強く、奥さんや部下も巻き込んでたくさんのことを行いました。最も有名なものは、世界遺産にもなっていますね。
②	答え ↓	私は、邪馬台国の女王だったと中国の記録に残っているのよ。でも、わたしのいた「くに」がどこにあったかは分かっていないらしいわね。ふふふっ。みんなはどこにあったと思う？
	卑弥呼 (教科書P.8～P.17)	米作りが始まって、食料の面では安定したけど、別の問題が起こってきたことが分かりますね。 ところで、みなさんは、邪馬台国がどこにあったと思いますか？先生は…。
③	答え ↓	百姓から関白という政治のせきやーでもほぼトップの役職にまでなるなんてすごいがね。天皇に近い公家以外で関白になったのは、わしとわしの義理の息子だけだわ。有名な大坂城もわしがつくらせただわ。支配を続けていくために百姓への支配を強めたけどね。(名古屋弁ぽくしてみました。)
	豊臣秀吉 (教科書P.70～P.73)	織田信長に仕えてから出世し、信長の死後全国を統一しました。秀吉には、この人をしたう多くの家来たちがいました。人をひきつける人間的な魅力をもっていたのかもしれないね。ただ、この人の政策には、かなり民衆にとって厳しいものがあります。調べてみましょう。
④	答え ↓	私や私の弟子たちが作った日本地図がすごく正確だって、何年も後に来た外国の人までびっくりしていたらしいな。年をとってから日本中を歩いてまわるのはとても大変だったよ。
	伊能忠敬 (教科書P.90～P.97)	教科書では、コラムにたった少ししか書かれていませんが、この人の功績は言葉では言い表せないほどすごいものです。ぜひみなさんも自分で調べてください。
⑤	答え ↓	どうして私の弟は、「父上のかたきをとったよ」、「法皇様からほうびをもらったよ」なんて無邪気に言ってるんだ。私が、東国で武士による武士のための政治をしようとしてるのが分からないのかあいつは。あー、どうして私の一族は、滅ぼし合いをしてしまうんだ。
	源頼朝 (教科書P.44～P.51)	日本で初めて東国で武家政権を開いた人です。京都で政治をしていた人たちへの地方の不満をきちんと理解して、武士のかしらとしての自覚をもった政治を行いました。残念なのは、弟たちとのみぞを最後までうめることができなかつたことです。政治に対する考え方がまったく違うのでしかたがないのですが…。

⑥	<p>答え ↓</p>	<p>みんなは私のことを「神をも恐れぬ魔王」とか言っているらしいな。だが、よく調べてくれ。私ほど信賴していた人に裏切られ続けた人間はいないんじゃないか。弟に始まり、長政、久秀、村重、光秀、將軍までも。さらに、秀吉も結局は裏切ったのと同じじゃないか。私の治めたまちは治安もよく、くらしやすいと評判になっていたんだよ。新しいことをどんどん取り入れて、世の中を平和にしようと思っていたのに。光秀は、どうして私を…。</p>
	<p>織田信長 (教科書P.64～p.73)</p>	<p>大人から子どもまでよく知られている歴史上の人物ですね。この人の行った政治や経済活動などを一つずつ調べていくと、どういう思いで日本をまとめようとしていたのかが分かってくるかもしれませんね。</p>
⑦	<p>答え ↓</p>	<p>私がつくった金閣は、観光地になっているらしいな。ただ、私の孫がつくった銀閣の方がセンスがいいってよく言われたり、その後の日本の家づくりにも影響を与えたりしているのは、複雑な気分だな。</p>
	<p>足利義満 (教科書P.56～P.61)</p>	<p>小学校の教科書では、足利氏が京都で政治を始めた流れがよく分かりませんが、この時代に始まったことが、今の私たちの生活に大きな影響を与えていることがわかりますね。P.36、P.44、P.57の家の様子を見比べてみるとよくわかります。</p>
⑧	<p>答え ↓</p>	<p>大王中心、私の一族中心の国づくりのためには、優秀な蘇我氏が邪魔だったんだ。だから同じ考えの鎌足くんも新しい政治を手伝ってくれた。でも、なぜか私は民衆に人気がなかったんだよな。強引に改革を進めたせいかな、無理な戦いを外国にしかけたせいかな。</p>
	<p>中大兄皇子 (教科書P.24～27)</p>	<p>後の天智天皇です。この人と中臣鎌足（後の藤原鎌足）が行ったのが大化の改新です。中国の制度をまねて、天皇を中心として都から全国を支配する国づくりを進めました。ところで今の元号は、「令和」ですね。この元号というものが始まったのはこのときです。「大化」が日本で初めての元号です。</p>
⑨	<p>答え ↓</p>	<p>私は、10代の頃、みんなのふるさとの道後温泉に来たことがあるんだよ。政権内のごたごたが嫌になって、しばらく温泉で休ませてもらったんだ。元気になってからは、蘇我のおおおじさんや大王のおばさんを手伝って、憲法をつくったり、官僚制度を整えたりと日本の国づくりのためにがんばったんだよ。</p>
	<p>聖徳太子 (教科書P.24,P.25)</p>	<p>聖徳太子については、学者さんたちの間でも実在したかどうか、本当は別人だったのでは、などいろいろな説が出ています。ただ、聖徳太子が行ったとされている教科書に出ている政治が、わが国を国として一つにまとめていく上で、とても重要であることに変わりはありません。</p>
⑩	<p>答え ↓</p>	<p>私は道長様の娘さんの家庭教師に抜擢されたわ。でも、何が気に入らないのか、朝廷内の女性たちにいじめられるのよね。世界でも有名な「源氏物語」を書くなど、もともと文章を書くのが得意だから、口で言い返せない分、文章で言い返していたのよ。だって言われるだけなんてくやしいもん。同じ時代の、「枕草子」も有名みたいね。作者の人とは、あまり仲がよくなかったのよね。</p>
	<p>紫式部 (P.38,39)</p>	<p>この人は、当時の権力者のむすめさんの教育係（今で言う家庭教師）をしていました。当時は、自分のむすめに高い教養を身に付けさせる政治家が多かったため、この人のような学問を身に付けた女性が家庭教師として数多くやとわれていました。このころ、今みなさんが使っている「ひらがな」や「かたかな」もできたとされています。もしこの時代がなかったら、今、漢字ばかりの教科書を…。</p>